祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第百三十三期幹部予定者課程卒業式、 並びに第八十三期公募幹部課程修業式が厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表し て、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程を卒業される皆様、並びに公募幹部課程を修業される皆様、本日は誠におめで とうございます。また、御家族、学校関係者の皆様方に心から御祝いを申し上げます。

今、こうして皆様の、規律正しく、凛とした姿を拝見いたしますと、ここ江田島で過ごされた 日々は、厳しい中にも達成感を感じられる、充実したものであったと推察いたします。

私は崇高な使命を担われている海上自衛隊の皆様に、心から敬意を抱いております。皆様方には、これからも旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐ、この幹部候補生学校で学ばれたことを誇りとし、それぞれの専門分野において、豊富な経験を更に活かして、御活躍いただきたいと、心より願っております。

さて、皆様御存知のとおり、ここ江田島市は、今から百三十五年前、明治の時代に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和三十一年に海上自衛隊をお迎えし、現在に至る六十七年間、 共存共栄・一体不可分の関係を築き、皆様との縁や絆を大切に育んできた地でございます。

十月二十八日に行われました、海上自衛隊記念日式典で挙行された観閲式において、整然と隊列を組まれ、一体感と溌剌とした姿で行進する皆様の雄姿を目の当たりにし、頼もしく、大変感銘を受けました。

また、「オータムフェスタ江田島二〇二三」では、会場を御提供いただくばかりか、掃海艦「えたじま」の湾内クルーズなど、海上自衛隊の皆様の御協力により、大いに盛り上がりました。

おかげをもちまして、六千人近くの来場者があり、市最大級のイベントとして、多くの市民の 方々に楽しんでいただけました。海上自衛隊の皆様の、地域への熱い思いに、心より感謝申し上 げます。これからも、海上自衛隊と江田島市が共存共栄、一体不可分の関係を築いていくことが できるよう、尽力してまいります。

私達、江田島市民は、昼夜を問わず、国防のために日々精進をする皆様に対し、心から敬意を 抱いております。卒業生の皆様、どうぞこの風光明媚な江田島を第二の故郷として、心に留めて いただき、苦楽を共にした仲間と、またいつの日か訪れていただきたいと思います。

再び皆様とお会いできる日を、楽しみにしております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして本日御参会の全ての皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和五年十二月十五日

江田島市長 明 岳 周 作